

にしおか友和 市政報告

吹田市議会議員 令和8年9月定例会 ご報告

市民病院が、3年連続の赤字。
市は「構造的な課題」と認めました

令和8年9月11日 本会議 個人質問より

9月定例会が開かれ、議案14件・報告13件・決算の認定11件が審議されました。今号の主役は市立吹田市民病院の経営です。令和7年度決算で、病院の純資産は**マイナス10億3,500万円**。元手より積み上がった赤字が大きい「債務超過」の状態です。数字をもとに、本会議で正面から質しました。



当期純損益の推移 報告第20～22号から

令和4年度		+約18億円
令和5年度		▲14.3億円
令和6年度		▲4.4億円
令和7年度		▲5.4億円

中央の縦線が0、左へ伸びる棒は赤字。令和4年度の黒字はコロナ補助金による一時的なものです。

純資産（債務超過）

▲10億3,500万円

令和5年度にマイナスへ。3年連続で拡大

手元の現金

2年で▲13億円

35.4億円→22.2億円（令和5→7年度末）

繰越欠損金（累積赤字）

46億2,000万円

経常収支比率は96.6%（令和7年度）

Q1 現場は改善。それでも赤字の理由は

在院日数は10.9→10.5日、医師の残業は月47→21時間、外来単価も4年連続上昇。それでも赤字が続く原因を質しました。

市の答え 「病床利用率の伸び悩みと物価・人件費の高騰が、改善努力の効果を上回っている」。利用率向上を速やかに進めるとしました。

Q2 431床のうち約100床が空いている

病床利用率は目標90%に4年間届かず、救急車の受入れも**前年比15%減**。この規模は需要に合うのかを問いました。

市の答え 「現時点では必要な病床数」。今後は北摂の広域議論で数と機能を整理する認識も示しました。

Q3 「4年後も赤字」の計画でよいのか

財務改善は**C評価**なのに、第4期計画は4年後の目標が今年度と同じ98.7%で、**13億3,900万円の赤字**を織り込み。見直しを求めました。

市の答え 「期中の見直しは慎重に」。毎年度の計画で具体的な改善策を求めるとの答弁でした。

Q4 市の支援、全体像が見える形に

運営費負担金**11億1,700万円**、長期借入金の残高**136億7,900万円**。市民が全体を知る手立てがなく、明示を求めました。

市の答え 一括明示は「考えていない」。ただし「財務情報の透明性確保は重要」と認めました。引き続き求めます。

——病院を責めるためではありません。「構造的な課題」と認めたことは、**立て直しの出発点**です。市民の健康寿命を支える中核を次の世代へ引き継ぐため、実行を見届けます。裏面もご覧ください。

9月定例会レポート ――暮らしに関わる議案を審議しました

交通 自動運転バス、千里で実証へ

千里中央～北千里（71系統・約3.8km）で、豊中市・吹田市・関西電力・阪急電鉄の4者が**自動運転バスの実証運行**を計画（令和9年2月頃・3日間）。最短で令和11年度に特定条件下の完全自動運転（レベル4）をめざします。

負担金500万円の財源となる国の交付金は**11月頃決定でまだ未確定**。前年度の同事業費7,404万円も**全額未執行で繰越**となっており、執行体制を質しました。

子育て 岸部に、認定こども園＋防災備蓄倉庫

旧市営岸部中住宅の跡地に、**認定こども園と防災備蓄倉庫の複合施設**を建てる工事契約3件（総額**16億5,402万円**）が議案に。**令和10年3月完成予定**です。保育の受け皿と地域の防災拠点を兼ねます。工事車両の動線や周辺道路の安全対策も確認していきます。

まち 市営住宅の跡地、4.3億円で売却へ

旧市営岸部北住宅の跡地を府の都市計画道路用地として**4億3,427万円で売却**し、全額を市営住宅整備基金へ積み立てる補正予算。積立額は一気に**約12倍**になる一方、肝心の建替計画は示されていません。「**売却代金の置き場**」にならないよう、見通しを求めました。

水道 災害に強い水道へ、井戸を増強します

市民病院が持つ旧あゆみ保育園跡地（約879㎡）を**1億5,400万円**で取得し井戸を新設。自前の地下水は日量12,750㎡→17,000㎡へ**33%増**、令和12年稼働予定です。売主は市が100%出資する病院で当初予算から1割の増額——**価格の決め方の透明性**を質しました。

環境 南吹田・下水処理場の解体で土壌汚染

焼却施設の解体（予算6億2,651万円）が**土壌汚染と地中障害物**で進まず、支払い45万円（0.07%）のまま**全額繰越（事故繰越）**。汚染の範囲、住民への影響と説明、年度内完了の工程を質しました。

続報 北千里駅前の都市計画決定は延期へ

11月に予定されていた再整備の都市計画決定は延期される**見込み**となりました。決定を経ると、駅前広場を約**900㎡→約4,000㎡**へ広げるランドデザインが具体化します。新しい時期が示され次第、ご報告します。



にしおか友和の個人質問 ―― 3つのテーマ

令和8年9月11日 本会議／シルバー人材センター・学校・給食



Q1 シルバー人材センターへの「支援の形」

市が出すお金は年5億3,420万円で北摂最大なのに、補助金は**1,633万円**で北摂の半分以下——支援の形を問いました。

市の答え 「会員数は北摂で最多であるにもかかわらず、補助金額は低い状況」と認め、センターと協議を重ね支援に努めると答弁しました。

また市は、センターを「高齢者の活躍を支援し、地域の活性化に重要な役割を果たす関係団体」と位置づけ、会員確保に苦慮する現状にも、他市の取組を注視し支援するとしてしました。

Q2 先生は、休憩45分を取れているのか

先生の休憩は**1日45分、法律上の義務**です。学校では子どもの対応があるため、休憩は一人ひとり別々の時間に割り振られています。では、**実際に取れているのか**——この一点を質しました。

市の答え 今回の仕組みでは**取得状況を正確に把握することは困難。「取れていなくても取得したものとして算定されている可能性」**があり、「課題として認識している」と認めました。

取れなかった場合の取扱いが今年4月に各校へ通知済みで、宿泊行事では分割付与や交代制などの工夫も調査で確認したとのこと。**実態の調査と改善**を引き続き求めていきます。

Q3 中学校給食と栄養教諭

全員給食（民設民営のセンター方式）では、法律上**栄養教諭の定数が算定されない**ことを市も認めました。

市の答え 府へ「各校1名配置」の制度拡充と財政支援を要望中。ただし**市費での配置は「予定なし」**——体制づくりを引き続き追います。

なお小学校35校は、法律の算定22人に対し**栄養教諭18人＋臨時技師4人**を配置し「差はない」との答え。中学校はいま府加配3人が近隣校を巡回しており、**全員給食開始後の継続配置も府へ働きかけます**。アレルギー対応は「**校長を責任者とした学校組織全体で取り組む**」との答弁でした。

吹田市議会議員 にしおか友和 気づいたこと

困っていること。どうぞお寄せください。

事務所 吹田市泉町1丁目3番40号
吹田市役所内 吹田市議会会派 立憲民主党

電話 090-4640-1285

Web tomokazu.org



ホームページ

PROFILE

- 1974年 吹田生まれ・吹田育ち。3児の子育て真っ最中
- 千里山団地に生まれ、佐井寺・五月が丘育ち。藤白台在住
- 関西大学法学部／大阪府立大学大学院 公共経済学 博士前期修了
- (株)ドコモCS（NTTグループ）で20年間 ICTシステムコンサルタント
- 吹田市議会 監査委員・建設環境常任委員
- 藤白台小学校 PTA会長（2018・19・23・24年）